

次號友禪界雜誌として現れる時

友禪界雜誌定價及廣告料 總て前金にて一切割引せず

本定價郵費共一部金二十五錢二十部以上一時誌に購求は一部に付金二十錢の割

雜誌購讀料 前金一ヶ年分十二月は 休刊 金二圓五十錢

廣告料 一回分 (一ヶ年) 一ヶ年

特別場所 表紙裏表 二十五圓 百十圓
頁 第二の頁

六分一 誌六行 三圓 廿五圓

普通 四分一 誌十行 四圓 卅五圓

場半 頁二十行 七圓 五十圓

一頁 頁五號四十 十二圓 八十圓
字誌廿行

雜誌代及び廣告料は總て前金の事但し一ヶ年の廣告契約者にして中途にて其掲載を中止するも既納の廣告料は返金せず

會員中改名又轉房等の際は速に御通知ありたし雜誌發送に際し帶封會費切の捺印致置き候節は速に御送金を乞ふ

會費及廣告料は振替口座大阪六叁八壹六番日本友禪雜誌車戸喜太郎宛に郵券代用は五厘切手にて一割増の事

大正十一年七月廿五日印刷
大正十一年七月廿八日發行

京都市油小路八條
印刷所 京阪日日新聞印刷所

各員に對して會長

車戸喜太郎

我友禪工組編輯委員會は友禪工業界の發展を圖る爲に生れ當六月八日を以て伏見淺野俱樂部に於て慶賀を上げるに至り各員の投票により見る所なき余輩を以て會長に就任の譽を給はりたるは感謝該受の至りとすなれど誠に重荷の觀なれ共先輩の御指導各員の御援助を得て出來得る限り任務全うしたく心得此處に至り本會日淺きにも不拘新進たる役員及び會員一般諸氏の悉くは熱烈氣鋭は眞に燒き盡すも向灰と化しても止まざる大奮闘的決心を以て進められつゝあるは離如として實際に現はれ延いて各會員の緊張振り俣入會實に其の増加を示せるは深く感謝の至り之確に會員の士は從來の頭を一變して時世の進歩を自覺して相提携し進むべき道を求めしは彼我の幸福の證なりと心得べし同志の志操は自からに合し余輩も既に成立以前より斯道に貢献

せるは年來の懸案たりしなるが茲に至り各員は一層堅固に信念を以て鑄て來る可き道に處しては遺憾なく堅固に準備を怠らざらんを望む

一體吾人職業者間には協力一致の念は之迄にも薄く何となれば今處に至り緊難此所一層の努力を要す然らざれば到底眞の好結果を得難く活躍一番誠心實を以て進むべく拮與吾人の活躍の大晴場今も本會は員外より前途疑の眼を以て批評されつゝ有物なれば員外の眼が明るきや俣明目暗なるやは余輩のみならず一般諸氏の頭腦にあり本會死活は會員全體ならずや

本會の未製品時代に反對的意見論者續々を耳にせしが縱令如何様な意見論者現はるも何等の恐れざらん小溝の目高魚は人の口にも入らざれば安心なれど魚としての眞價なしなれど已の眞のなきを隠し大河の鯉の此評を心見るは之小人の常なれど小溝の目高如きが鯉の此